



製品安全データシート

危険記号	保護具	記号
		規定されていません

発行日 2017年1月10日

改訂日

改定番号

1. 製品及び会社情報

製品名 PTMScan® Phospho-Enrichment IMAC Fe-NTA Magnetic Beads

製品コード 20432

推奨用途 人に使用しないこと。 研究上の使用のみ。

会社
CSTジャパン株式会社
東京都千代田区内神田1-6-10
TEL: 03-3295-1630

登録番号 S045

2. 危険有害性の要約

GHS-分類

注意喚起語

危険



危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気
- 強い目刺激
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気およびめまいのおそれ
- 発がんのおそれ
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 長期または反復暴露による肝臓の障害
- 長期または反復暴露による中枢神経系の障害のおそれ

引火性液体	区分2
目に対する重篤な損傷/目刺激性	区分2B
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性 (1 回暴露)	区分3
特定標的臓器毒性/ 肝臓 (反復暴露)	区分1
特定標的臓器毒性/ 神経 (反復暴露)	区分2

2. 危険有害性の要約

注意書き:

【安全対策】

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地すること/アースをとること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 取扱後はよく手を洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

【保管】

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3. 組成、成分情報

製品タイプ 混合物

危険有害成分

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
Ethanol	10-24%	CH ₃ CH ₂ OH	2-202	2-9-61	64-17-5

4. 応急措置

目に入った場合	多量の水で15分以上よく洗浄し、刺激が続く場合は医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと水で洗浄すること。 刺激が続く場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与え、医師に連絡すること。 無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	過剰暴露の際は、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐などの症状に見舞われる可能性がある。
応急措置や特別な治療の必要性	症状に応じた治療を行うこと。
医師に対する特別な注意事項	暴露物質をよく知っている医療人員を確保し、使用上の注意を入手すること。 お困りの際は、お近くの中毒情報センターに問い合わせること。

5. 火災時の措置

消火剤	炭酸ガス、粉末消火器、対アルコール性泡消火剤
不適切な消火剤	注意：消化活動に効果がない場合は、水噴霧を行うこと。
化学物質による特別な危険有害性	可燃性
消防士のための保護設備及び予防措置	自給式呼吸装置と保護服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	安全区域へ避難させる。十分な換気を確保する。全ての発火源を取り除く。 静電気防止のための予防措置を講ずる。必要な機器を準備した上で取り扱う。適切な保護服を着用しない限り、破損した容器やこぼれた物質に触れないようにする。個人用保護具を使用する。
環境に対する注意事項	蒸気が蓄積し、爆発濃度にならないよう注意する。蒸気は地面近くに溜まりやすい。
封じ込め方法	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
浄化方法	不活性の吸着剤（砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。適切なラベルを貼った容器に移す。汚染された表面をきれいに洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	皮膚、眼、衣類に触れないようにする。蒸気や噴霧を吸入しない。個人用保護具を着用する。再使用する前に汚染された衣服を洗う。火気、高温面、および発火源から遠ざけること。静電気防止対策を講じる。防災設備を備えた区域でのみ使用する。
保管条件	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所で保管する。裸火、高温面および発火源から遠ざけること。

8. 暴露防止及び保護措置

化学名	ACGIH TLV	OSHA PEL	NIOSH REL
Ethanol	STEL: 1000 ppm	TWA: 1000 ppm TWA: 1900 mg/m ³	IDLH: 3300 ppm TWA: 1000 ppm TWA: 1900 mg/m ³

設備対策 洗眼器、安全シャワー、局所排気装置を設置すること。

保護具

目/顔面の保護 飛沫が飛び散る可能性があるため、しっかりとフィットする安全ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具 保護手袋着用。耐薬品性エプロン。軽量の保護服。帯電防止ブーツ。

呼吸器の保護具

暴露限度以上または刺激がある場合は、NIOSH / MSHA承認の呼吸保護具を着用すること。大気汚染物質濃度が高い場合には、正圧が供給される送気マスクが必要となる可能性がある。現場の規制によっては、呼吸器保護具が必要となる。

適切な衛生対策

労働衛生や安全性に従って取り扱うこと。飲食物、飼料とは分けて保管すること。製品の使用時は、飲食や喫煙は禁止。汚染された衣服や手袋を再使用する前に、よく洗い流すこと。装置、作業区域および衣類は、定期的に清掃し、取り扱い後は手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物質の状態	液体	
物理的状态	無色の懸濁液	
臭い	特徴的な臭気	
臭気の閾値	情報なし	
pH	6.5 (20°C)	
融点/範囲	情報なし	
凝固点	情報なし	
初留点	情報なし	
沸点・沸騰範囲	情報なし	
引火点	36°C (23-60°C)	
蒸発速度	データなし	
空気中での可燃性限界	上 15.0 %	下 3.5 %
爆発特性	情報なし	
酸化特性	情報なし	
蒸気圧	59 hPa (44 mmHg)	
蒸気密度	情報なし	
比重	情報なし	
溶解性	分散性	
n-オクタノール/水分配係数	-0.32	
自然発火温度	425°C	
分解温度	情報なし	
粘度	情報なし	

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の状態では安定。
避けるべき条件	熱、炎、火花。極端な温度と直射日光。
混触禁止物質	情報なし
危険有害な分解生成物	通常使用下ではない。
反応性	情報なし

11. 有害性情報**急性毒性**

経口 LD50 7060 mg/kg (Rat)

慢性毒性・長期毒性

症状 過度の暴露では、頭痛、めまい、疲れ、吐き気、嘔吐の可能性。

1 1. 有害性情報

感作性	情報なし
変異原性影響	情報なし
発がん性	発がん性物質として記載されている成分は含まない。エタノールは、アルコール性飲料として消費された場合にのみ、長期間の研究から発がん性を引き起こすことが示されている。発癌性が疑われる物質を含むが、分類基準未満の濃度であり、分類基準は満たされない。
生殖毒性	情報なし
単回暴露	情報なし
反復暴露	情報なし
神経学的影響	情報なし
呼吸器危険性	情報なし

1 2. 環境影響情報**生態毒性**

化学名	藻類に有毒	魚毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)
Ethanol		LC50 = 100 mg/L 96 h LC50 = 13400-15100 mg/L 96 h LC50 = 12.0-16.0 mL/L 96 h		EC50 = 2 mg/L 48 h EC50 = 10800 mg/L 24 h LC50 = 9268-14221 mg/L 48 h

残留性/分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
移動性	情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品の廃棄方法	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
廃棄条件	下水道に流さないこと。製品および容器は安全な方法で廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

<u>IMDG/IMO</u>	規定されていません。
<u>ICAO/IATA</u>	規定されていません。
<u>DOT</u>	規定されていません。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法:	危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）（政令番号：9-61）
消防法:	第4類引火性液体、アルコール類
航空法:	引火性液体
船舶安全法:	引火性液体類

16. その他の情報

改訂日

改定メモ

推奨される制限

免責条項

このMSDSの情報は、その公開の時点において弊社の有する知識、情報及び見解の限りにおいて作成されています。提供した情報は、安全な取り扱い、使用、加工、貯蔵、輸送、廃棄及び放出のためのガイドのみを意図としたものであり、品質を保証しているものではありません。この情報は指定した特定の物質のみに関するものであり、他の物質とともに使用する場合、または他のプロセスで使用する場合はこのMSDSに記載のない限り適用されないことがあります。